桜ヶ丘だより

第42号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘2-1-1
郵便番号 501-3903
電話(0575)22－5688
FAX(0575)23－7089

〈校　訓〉
錬至進
磨誠取

新会長挨拶

会長
杉浦　孝志
(高19回)

本年6月19日（土）の定期総会において、長い歴史と伝統のある関高校同窓会の会長として承認を受け、第一歩を踏み出す事になり大変なプレッシャーを感じています。がしかし有能な役員の皆様が多数おられますので助けをお借りしながら進んでゆきたいと思っています。本年3月に同窓会に入会された方々を含めますと約23，000名になろうとする同窓生の皆様方には各方面でご活躍の事お慶び申し上げます。

さて関高校も創立90周年を来年に控え今、実行委員長及び日程（平成23年11月5日土曜日）が決定されており記念事業に向けての準備を始めたところです。色々な所で皆様にはお力添えを頂く事になると思います。林・前会長はじめ、代々の会長のご功績を汚さぬ様、活動が停滞する事のない様役員の方々と同窓会発展の為に頑張りますので会員の皆様方の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校長挨拶

学校長
鬼頭　靖尚

創立90年の歴史と伝統、美濃学区の雄として燦然と輝く本校に、小邑政明校長の後任として赴任いたしました。誠に光栄に存じます。着任以来3ヶ月。強歩大会（第60回記念大会）や東京支部同窓会（第20回記念大会）など、周年行事にも巡り合わせていただきました。また、2年に一度の同窓会総会では、懐かしい先輩の先生方や、県庁知事部局勤務時代にお世話になった方々にもお会いできました。つくづく世間の狭さ、出会いのご縁の豊かさを実感させていただいております。

もとより浅学非才ながら、近年は、司馬遼太郎や五木寛之の作品に共感を覚えることが多く、とりわけ、司馬さんの代表作、「坂の上の雲」や「この国のかたち」などを、こころを震わせながら改めて拝読しているところです。

旧聞ながら、司馬さんの「二十一世紀に生きる君たちへ」を引用し、始業式の訓話としました。内容を要約しますと、『私（司馬）は、人という文字を見ると、しばしば感動する。なぬの画（かく）が互いに支えあって構成されているのである。人間は社会をつくって生きているが、社会とは「支えあう仕組み」ということである。助け合って生活するためには「いたわり」や「やさしいこころ」が不欠であるが、それらは、訓練ははじめて身につくものである。倉時代の武士たちは、「たのもしさ」を大切にしてきた。人間はいつの時代でもたのもしい人格をもたねばならない。男も女もたのもしくない人には魅力を感じないのである。云々』などでありました。

私もまた、関高生には、「気さくして力持ち、骨太でたのもしい人たち」になってほしいと願っております。そのために折に触れて、五木さんや司馬さんの作品を引用し、よりよく生きるためのヒントを紹介し続けたいと考えております。

今後ともお力添え賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年度同窓会総会

副会長　堀部　哲夫（高21回）

さる6月19日（土）夕方、梅雨空の中、平成22年度関高等学校同窓会総会が、美濃市のホテルマリーバル石金にて開かれました。学校からは、鬼頭靖尚校長、重山武平教頭がご出席くださいました。また、当番幹事の20回生、21回生は、同級生140名以上の参加で総会を盛りたてました。総勢160名を超える盛大な総会となりました。

林会長は、挨拶で90周年の記念事業の説明をされました。鬼頭校長からは関高校の現状、地域の進学校として非常に高い位置にあることが説明されました。そして、関高校の伝統行事であります強歩大会などの様子が紹介されました。

議事では、21年度の事業報告、決算報告に続き、新役員の選出が行われました。新会長に杉浦孝志氏（19回生）が承認されました。

総会に引き続き、懇親会では、16回生の尾藤関市長が参加してくださり、花を添えて頂きました。20回生によるエレキギターの生演奏で、関高校歌を全員で唱和するアトラクションがサプライズで行われ、大いに盛り上がりました。

総会と懇親会の終了後、20回生と21回生の皆さんは、恩師を囲み学年同窓会を開きました。お招きした先生は、般若辰郎先生、森正昭先生、柳橋教子先生、小川敏治先生の4名でした。還暦を迎えた年に、初めて開かれた学年同窓会に参加者すべてが感動し、再度の学年同窓会開催を誓いました。

恩師の先生方も、大変お元気でした。次回の学年同窓会にも必ず出席してくださることをお約束くださいました。何時までもご健康で有られることを祈念します。

平成21年度 生徒会の足跡

関高校の伝統行事である関特別支援学校との交流会は、インフルエンザの影響で開催する事ができませんでした。毎年、いくつかのグループに分かれて活動し、笑顔があふれる行事でしたが、参加者のみなさんにとって残念な結果になりました。次こそは開催して笑顔を引き継ぎたいと思っています。

その他、生徒会活動の資質向上を目指し、加納高校の生徒会との交流会を行いました。互いに学校行事の特色や進行の方法、文化祭の出し物の内容など話し合いは、とても有意義な交流会となりました。

そして今、強歩大会と球技大会を終え、関高最大の行事関高祭に向けて動いています。今年のスローガンである「華」を、関高校の歴史に盛大に咲かせたいと思っています。

夢を志望に、志望を現実に！ 進路状況

卒業年度	21	20	19	18
卒業者数	316	316	315	354
国公立大学	140	145	150	161
私立大学	653	729	545	742
東京大学	0	3	0	1
京都大学	5	5	5	5
名古屋大学	15	20	21	19
大阪大学	2	2	6	2
岐阜大学	25	32	20	37
早稲田大学	16	4	17	11
南山大学	40	42	37	49
名城大学	41	54	36	77
立命館大学	66	93	44	64
同志社大学	43	35	24	42

※合格者の多い大学のみ掲載しました。

第62回生（平成22年3月卒業）同窓会委員

1組　石田紳太朗
中島綾衣梨
2組　横井　健
羽田野莉江
3組　村井独歩
前田かず美
4組　塚原寛丈
藤村堯弘
5組　高木淳史
松下友理子
6組　山田直幸
水谷佳代
7組　永田裕太郎
三輪一恵
8組　荘加健登
小林宏美

学年幹事
横井　健
松下友理子

平成22年度 同窓職員異動

【転出】
教諭（国語）　佐藤　紫（高25回）
事務長補佐　山田　郁子（高23回）

おくやみ

西部　文雄 先生
ご冥福をお祈りします。

平成22年度 役員紹介

会長	杉浦　孝志	(高19回)
副会長	長村　富子	(女25回)
〃	後藤　房	(女25回)
〃	加藤　洋子	(高13回)
〃	井上　博文	(高16回)
〃	伊佐地正克	(高17回)
〃	藤井　市三	(高19回)
〃	清水　俊夫	(高20回)
〃	堀部　哲夫	(高21回)
〃	鈴木　良春	(高22回)
〃	筒田　義和	(高23回)
〃	丹羽　克彦	(高24回)
〃	佐藤　敏則	(高27回)
〃	浅野欽一郎	(高29回)
書記	浅野登代子	(高10回)
〃	山田　正樹	(高24回)
会計	武藤　玲子	(高13回)
〃	神谷　泰久	(高21回)
会計監査	坂井　寛司	(高20回)
〃	伊佐地秀一	(高21回)
会報委員長	樺山　舜亮	(高14回)
会報委員	梅田　洋子	(高11回)
〃	金子　満	(高15回)
〃	野中　歌子	(高15回)
〃	平田　和子	(高16回)
〃	池村　洋子	(高18回)
〃	黒野理津子	(高38回)
〃	長尾　歩	(高40回)

事務局だより

▼転居等により、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じておりますつきましては、名学年の幹事の皆様や、会員の皆様ご本人からの情報を事務局までお知らせ頂けると幸いに存じます。何とぞよろしくお願い致します。

▼同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金をご援助しております。

▼会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会員の皆様の活躍の様子や、同窓会での交流のひとときなどの記事をお写真とともにお寄せください。（お写真はお返し致します）

今年は2年に一度の通常会費（2，000円）納入の年にあたっております。同封の振込み用紙をご利用のうえ、最寄りの郵便局よりお振込みください。ますようお願い致します。

同窓会会則　第12条
正会員は入会金並びに会費を出すものとする。ただし、入会金は9000円、会費は2年毎に2000円とする。又、入会金は経常費と積立金とし、会費は会の活動、発展および第10条の目的を達する必要な経常費の補助と特別行事（記念事業等）の補助を行うものとする。